

CAL研『浪漫飛行』出版記念講演会

山下「夢語れば現実」社長

【福岡】LCLは一月二十九日、CAL研究会を福岡八仙閣で開催した。今回はSSの車販・TCSのバイブルとなる『浪漫飛行』出版を記念した講演会となった。会場には、九州各地をはじめ関東、関西、中国、四国からも六〇人を超す参加者がこの福岡に集った。

CAL研究会は自立と相互支援をモットーにトータル・カーライフ・サービス（TCS）の推進を目的として活動するSSの研究會であり、系列の域を超えて幅広く活動している。一九九三年の結成以来、現在は全国に



『浪漫飛行』を出版した山下真司社長

一〇〇社以上の会員が活躍していると米井哲郎智頭石油代表取締役社長が同研究会を紹介した。

今回の研究会では、事前にチェックリストが配布され、自店の問題点を把握すべく、この方式がとられた。生川正洋氏が同会は「自立と相互支援」「人間中心主義」の二つの理念に基づき運営されている。SSは元売りの

作成したリーダーチャートについて六つのチェック項目について各部門別に詳細に解説した。

への依存度が高い業界だったが、取り巻く環境が変わり、この状況を乗り越えるためには、自立することが絶対条件になると強調した。

車販をSSの本業として取り組み、各SSスタッフが力を合わせ一つの目標に向かうことが重要であり、それを月一〇〇キロのSSの場合、年間五〇台と明言した。また参加者が

を説き、車販事業はブラムモデルと例え、一つ一つを積み重ねて本物になると語る。今後はドライブウエーの六割前後が自社・他社ルー

スあるいはディーラーパックとなり、メンテ保有台数の取り合いになる」と警鐘を鳴らす。「夢語れば現実になる」とのポリシーを参加者に強調し、一番大きな壁は自分の頭と述べた。

また、米井社長からSSアプリマイピットについて、顧客とSSを繋ぐアプリとしての魅力を説明した。会場内には熱気が立ち込め、全員の『浪漫飛行』がこの場から始まった。



熱気が漂う会場